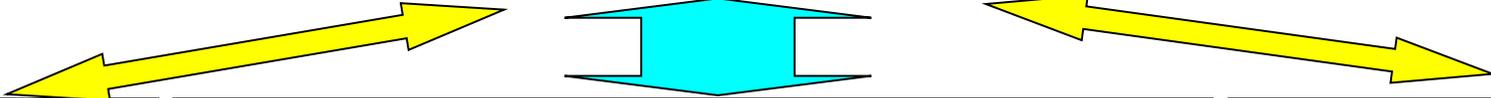


平成29年度 学力向上アクションプラン

A票

尼崎市立成文小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
<p>○全国学力調査から見られる課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均正答率を見ると、国語A・B、算数A・Bともに、全国平均より少し下回っている。 ・国語科において、「自分の考えの理由が分かるよう気をつけて書く」の項目で全国より8%低い。自分の考えを書く能力の育成が必要がある。 ・質問項目「自分で計画を立てて勉強する」の回答割合が全国より15%近く低い。 ・質問項目「家庭でのテレビ等の視聴時間が2時間以内」の回答割合が全国平均より13%低い。 <p>○尼崎市到達度調査から見られる課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙数が少なく、感想や説明等を書く力に課題が見られる。 	<p>○講師を招聘し、授業改善に努め、授業力向上を図る。(『主体的・対話的で深い学び』を課題として授業改善を図る。)</p> <p>○近隣校の校内研究会に出向き、授業力を磨く。</p> <p>○先進校の取組内容を分析・検証し、授業力向上を図る。</p> <p>○授業を互いに見せ合い、授業力の向上を図る。</p> <p>○ひとり一授業の指導案作成・公開授業を実施する。</p>	<p>○個に応じた学習支援を実施(3・4年対象)し、補充、発展的な学習を行う。</p> <p>○夏季休業中、3・4年、5・6年の二グループに分け、復習を中心とした課題に取り組み基礎・基本の定着を図る。</p> <p>○「家庭学習がんばりカード」を作成し、全校で実施する。(授業と家庭学習の接続)。</p> <p>○読書力の育成(朝の読書活動、図書ボランティアの読み聞かせ、家読)を図る。</p>	<p>○ICT機器を活用した授業を実践する。</p> <p>○毎週木曜日に「チャレンジタイム」を実施し、補充的な学習を行う。</p> <p>○オープンスクールにおいて、全クラスが道徳の授業を公開する。</p> <p>○あいさつ・もくもく掃除を継続する。</p> <p>○毎朝、靴箱のチェックをし、靴を揃えられる習慣を身につけさせる。</p> <p>○学力の向上には、家庭学習の充実と継続が重要である。このことを学校・家庭が互いに理解し、連携して取り</p>	<p>○「算数の勉強が楽しい」の項目で、「とても思う」「そう思う」の回答割合の実績値が75%以上(前年度比での3%UPを目標とする)。</p> <p>○「授業中、友達と話し合う時間がある」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば、「とても思う」「そう思う」の回答割合の実績値が85%以上(前年度比での2%UPを目標とする)。</p>



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
<p>○幼小中、小小、小中合同研修会の本校での実施(算数校内研究会・カウンセリングマインド研修)</p> <p>○小小、小中の連携を図る。(研鑽を積むために、校内研究会の交流を図る。)</p> <p>○小高連携(本校体育大会における吹奏楽部の演奏)</p> <p>○小中連携(大庄中の生徒との交流を企画)</p> <p>○6年生が中学校に出向き、クラブ活動や授業を見学する。また、中学の生徒会に小学校に来てもらい、学校の様子を説明してもらう。</p>	<p>(1)アクティブ・ラーニング推進支援</p> <p>(3)授業補助支援</p> <p>(4)放課後等学習支援</p> <p>(5)学力定着支援</p> <p>(6)地域人材活用支援</p> <p>(7)その他</p>	<p>○校内研修・校内授業研究における指導・助言、模範授業における指導。(八尾市立小学校講師 仲里 靖雄 先生) (元京都女子大学附属小学校校長 吉永 幸司 先生)</p> <p>○夏季休業中に3年・4年、5年6年の二グループに分け基礎基本の学習</p> <p>○低学年の協同的な学習において、嘱託員による同室複数指導を効果的に行う。</p> <p>○放課後学習・・・3、4年生対象 2h×週2×25回</p> <p>○夏季休業期間 2h×10回</p> <p>○「家庭学習がんばりカード」を作成する。</p> <p>○学習支援に係わる書籍・用紙・インクの効果的な活用</p> <p>○読み聞かせボランティア 1回×10人</p> <p>○地域図書ボランティア 週1×20回×5人</p> <p>○「まなボード」等の学習機器を活用し、グループ学習の円滑を図る。</p>	<p>○学力向上アクションプランを学校通信やホームページに明示する。</p> <p>○学力調査結果を公表する。、</p> <p>○「家読」の実施による読書力の向上を図る。</p> <p>○「家庭学習がんばりカード」を活用し、保護者の協力を得ながら、学習習慣の定着を図る。</p> <p>○開かれた学校をめざし、学校通信発行(月1回)やホームページの更新(月4回)を目標とする。</p> <p>○学校行事等に積極的に参加していただき、学校の状況等の理解・協力を得る。</p> <p>○PTA・地域ボランティアや登下校見守りに対し、感謝の心を指導する。(感謝の会)</p> <p>○オープンスクール授業予定の事前に配布する。</p> <p>○地域の教育支援人材を放課後学習に活用する。</p>